



石井病院

じんけいクリニック

Now Vol.154

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2021.1

 新年のご挨拶 理事長・院長 石井 洋光

令和3年の新年を迎えました。年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

ご承知の通り、中国武漢市にて発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、世界中で猛威を振るい続けており、大災害と同様長期にわたり社会全体のシステムにも甚大な影響を及ぼし、人類は未だかつて経験したことの無い脅威に直面しています。

特に医療・介護の現場では、患者さま、地域の皆さま方の命を守るために日々使命感を持って懸命に業務に従事して参りました。保健所、医師会等を中心として、近隣医療・介護機関の皆さま、そして職員の多大なる協力を得ることができ、無事に新しい年を迎える事ができましたことに心より感謝致します。

「丑年」の2021年は、子年の繁栄を土台に一歩一歩着実に物事を進めることが大切だと思われま。現在、ワクチンの開発、接種が進むなど、少しずつではありますが明るい兆しも見えてきました。

この新しい年が、より佳き年になるよう心より祈念致しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

理事長・院長
いしい ひろみつ
石井 洋光 石井病院 2020年度 防災訓練を終えて

2020年度防災訓練を10月24日外来編、11月28日病棟編の2回に分けて実施しました。

今年度、看護部の防災対策委員会が発足しメンバーである看護師は看護協会の研修を2日間受講し災害支援ナースとして登録しています。

例年職員で実施している防災訓練を今年度は看護部主催で計画する事になり災害想定、シナリオ作り、患者役の設定、避難方法等、委員会メンバーで何度も検討しての実施となりました。

訓練目標として外来編では災害発生時、外来患者様の安全確保と外部から来院される患者様の振り分け、誘導を含めた初動体制を確立すること。病棟編では夜間帯における地震発生時の初動対応と病棟間、当直医、守衛との連携を確立することでした。

南海トラフ地震が発生、約1時間後に2mの津波が到達することを想定し初動対応から避難までを実施しました。終了後、参加者へアンケートを行い多くの意見や要望、感想がよせられ院内防災管理委員会および看護部防災対策委員会で結果を発表しました。また委員会メンバーで振り返りを行うことで積極的な意見交換ができ、無事に終了したという達成感と防災に携わるメンバーとして次回のステップアップに繋がりたいという使命感にあふれています。アンケート結果では定期的な防災訓練の継続、普段からの心がけが重要であり参加者のほとんどが訓練参加を有意義と捉えていることがわかりました。今後も定期的に防災訓練を実施する必要があり、どのような方法で実施するのか検討が必要です。

現在、新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、いつ起こるかわからない災害に備え対策を講じなければなりません。地域に根差した病院として患者様が安心して入院生活が過ごせるよう、また安心して通院していただけるよう定期的な防災訓練の実施、マニュアルの整備、防災グッズの準備等、今後も活動を続けていきたいと考えています。

看護師長
にしはら けいこ
西原 圭子

(外来での訓練の様子 トリアージ・救急処置)



(病棟での訓練の様子 患者搬送・救急処置)





じんけいクリニック 新年のご挨拶 院長 福士 剛彦

明けましておめでとうございます。

皆様には、さわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
また昨年中、当クリニックに賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の蔓延に世界が翻弄された1年でしたが、一方で当クリニックでは医療の質、量ともに開設以来最も優れた成績が記録され続けた1年でもありました。また同時に、一人ひとりのスタッフの人として、医療人としての成長も著しく、少ないスタッフにも関わらず、よく考えられ工夫された手厚くミスが少ない医療が粛々と行われ続けたこと、仲間を信頼し助け合い、そして『全ては病める患者さんのために』を日々当たり前に実践している姿を垣間見れたこと、をその先頭にたつ者として心から嬉しく、また頼もしく思う日々でした。

未来永劫、じんけいクリニックに立ち止まることは許されず、現状維持は後退、常に発展し続けねばならない宿命がありますが、後に振り返ってみた時、その歴史の分岐点はこの年だった、2020年だった、と語り継がれるに違いありません。

本年も昨年の成果に慢心することなく、更なる直向きな努力、飽くなき挑戦、を続けていく所存ですので、患者さまや地域住民、近隣の諸先生方からの変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い致します。



じんけいクリニック

院長

ふくし よしひこ
福士 剛彦



じんけいクリニック 新年のご挨拶 事務長代行 原 真一郎

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年は新型コロナウイルスが猛威を振るった一年となりました。しかしその最中の4月に当院の大規模リフォームが完了し、新生じんけいクリニックとして、当院の医療を皆様に感じて頂き、元気に通院していただける環境を提供できる体制が整いました。本年も、医療法人社団仁恵会じんけいクリニックスタッフ一同、患者様一人ひとりに応じた治療を行い、一人ひとりのお気持ちを汲み取る優しいクリニックを目指してまいります。

結びに、皆さまに幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



仁恵会本部長補佐兼
じんけいクリニック
事務長代行
はら しんいちろう
原 真一郎



実施サービスのご紹介

「InBody」「SPP」「上腕動脈エコー」などの検査が充実しております。

当クリニックでは、筋肉量、体脂肪量、体水分量を寝ながら測定出来る装置「InBody S-10」を扱っております。ドライウェイトの決定の一助にもなっており、患者様の体重変化や、運動量なども総合に判断し透析治療に活用しております。

他に足の皮膚近くの血流を調べる事でフットケアに活かすことが出来る検査「SPP」を行い、患者様の大切なシャントを守る為、超音波装置で血流量を測定し穿刺困難になる前に血管拡張を行える指標にもなっております。

これからも多種の検査を必要なタイミングで行い、患者様の負担にならないよう注意しながら、患者様を守ってくれる検査を実施していきます。



(InBody 機器)

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00 ~ 12:00 14:00 ~ 17:00
土曜 9:00 ~ 12:00
担当 酒見 古門 上野

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>